

広島発・瀬戸内海美化大作戦

事業概要

私たちは、海・山・川などの自然から、暮らしに欠かせないさまざまな恩恵を受けている。

広島県は、瀬戸内海に面していることから、瀬戸内海をキーワードに、次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目的に「広島発・瀬戸内海美化大作戦」を実施する。

この事業では、実施主体公衛協で環境保全に係る実践活動を実践し、また活動場所ごとの活動記録を蓄積し、ひろく住民に公表することで、公衛協のPRを行っていく。

事業の内容

【活動テーマ】

- 「地域清掃・美化」・・・定期的な清掃活動、花いっぱい運動、一斉清掃 など
- 「水質改善・保全」・・・水辺・海辺教室、水辺に関する学習会（例：歴史・排水・産業）など
- 「里地・里山づくり」・・・不法投棄撲滅運動、竹の伐採や活用、下草刈り・間伐 など

【活動内容】

活動範囲は各公衛協（市町・支部・地区・学区エリア内）における海・川・里山・山林など。公衛協が主体となった環境づくり活動の充実、瀬戸内海をはじめとした水に関する関心度の向上、『公衛協』と『環境・健康募金』への理解を広げる効果が上げられるように、次の2つのメニューで活動を展開する。

A メ ニ ュ ー	<p>●実践活動による環境保全（市町・市部・地区・学区公衛協向け）</p> <p>継続して地域の環境保全活動に取り組むことにより、コミュニティでの環境づくりの動機づけ、習慣づけにつなげていく。</p> <p>①公衛協が主体となり、3つのテーマの事業を展開する。</p> <p>②所定の記録用紙に、活動に応じた記録を残し、経年変化を読み取るために蓄積する。</p> <p>○集めたごみの量や活動の様子 ○活動前後の写真 ○天気や気温、水温、CODなど</p> <p>③活動記録をもとに、広く住民に活動およびその結果を公開する。</p>
B メ ニ ュ ー	<p>●全県の活動実績収集・PRキャンペーン(市町公衛協事務局向け)</p> <p>各市町の活動成果をとりまとめ、環境協ホームページで県全体の成果を紹介することで、「公衛協」のPRにつなげ、活動の理解者の増加につなげる。</p> <p>①市町・支部・地区・学区公衛協で3つのテーマをもって実施される活動について、次の情報を収集する。</p> <p>必須情報：日時・イベント名・開催場所・参加人数 任意情報：活動成果・参加者の感想</p> <p>②2月末日を期限に、公衛協で実施した清掃活動について、所定の報告用紙に記入し、環境協に提出する。</p>

【支援グッズ（活動メニューA）】

実施テーマに応じて、支援グッズを提供する。

- 「地域清掃・美化」・・・アドプトサイン（1枚）、のぼりセット（6本）
- 「水質改善・保全」・・・瀬戸内海学習テキスト、簡易測定キット（1セット）
- 「里地・里山づくり」・・・のぼりセット（6本）、マグネットステッカー（6枚）



アドプトサイン（90cm×90cm）



マグネットステッカーデザイン（反射タイプ W450mm×H280mm）



COD(D) 10本入り1箱
PH 10本入り1箱



のぼり（45cm×180cm）

事業に参加した公衛協…… **20公衛協** (26公衛協中)

県内で実施された事業回数…… **187回** ※Bメニュー事業報告より (Aメニュー含む)

実施された活動(Aメニュー)………合計 **27回** ※Aメニュー活動報告より

- 美化テーマの活動件数……… **12回**
- 水質テーマの活動件数……… **11回**
- 里山テーマの活動件数……… **4回**

県内で地域美化活動に参加した人数…… **104,914人** ※Bメニュー事業報告より (Aメニュー含む)

活動の成果

【東広島市公衛協黒瀬支部】

事業名:冬の水辺教室
開催場所:黒瀬水質管理センター及び
黒瀬川明治橋付近

将来を担う青少年及び保護者を対象に、黒瀬川の再認識、環境保全に対する意識を深めてもらうことを目的に、下水処理施設の見学、野鳥観察を実施。約50人が参加して地元の環境に触れた。



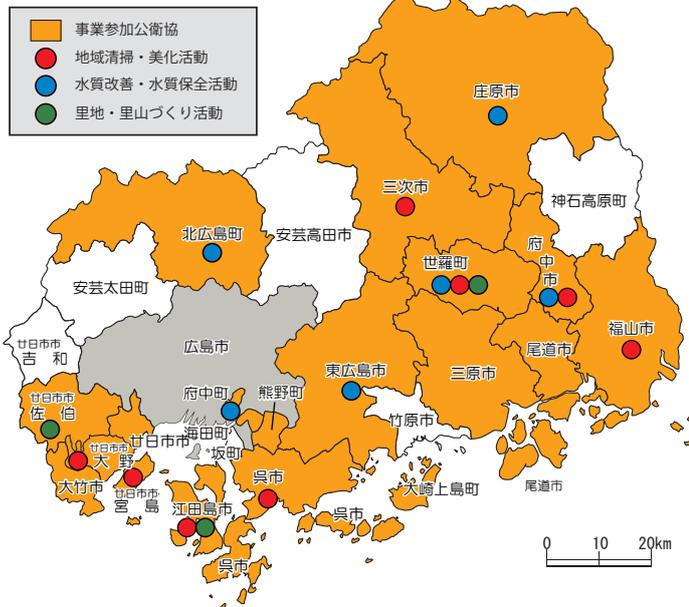
【廿日市市佐伯公衛協】

事業名:主要地方道廿日市・佐伯線散乱ゴミ回収
開催場所:県道30号廿日市佐伯線 明石峠付近



明石峠をアドプト空間と定め、定期的な清掃活動、花壇の整備、花の植栽などを実施している。この峠は廿日市市佐伯と廿日市市の境界で、以前は不法投棄ごみ、ポイ捨てごみなどが散乱していた。

平成26年度事業実施公衛協マップ



HPにて活動情報紹介中

公衛協の広場: <http://www.kanhokyo.or.jp/chiki/>
公衛協の活動紹介→広島発・瀬戸内海美化大作戦



※写真は平成25年度の実績

平成27年度に向けて

- ・県内全体の活動実績について、さらに集積精度を上げて住民パワーの有効性をPRする。
- ・引き続き、次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することをめざし、活動を継続する。